

JIS A 4722 : 2022 対応

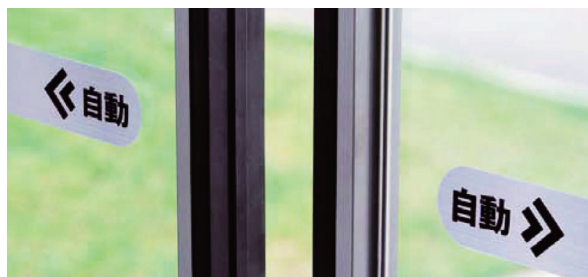
自動ドア安全性向上のためのご案内

自動ドアを安全・快適にご利用いただくために、
周辺機器をはじめとした安全性向上のための製品を取り揃えております。



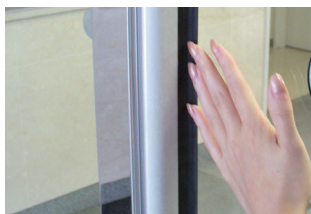
ソフトタイトドア

シャープな意匠をそのままに安全性を向上、戸先と戸尻を柔らかいゴムでカバーしました。安全性の向上として、ドア戸尻と中間方立を中空ゴムでカバーした「ソフトタイトFIX」仕様も可能です。



引き込まれ防止テープスイッチ

万一ドアと固定部のフレームの間に手や指が挟まれそうになっても、センサーが内蔵されたゴムによって自動ドアが緊急停止します。



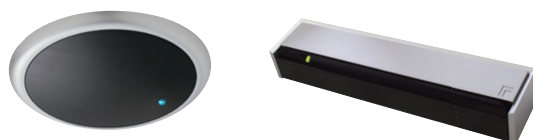
フィックスサイドガード

自動ドア戸袋側への進入・接触・衝突を防ぐ防護柵です。既存の入口にも取付可能で、ステンレス製・アルミ製・広告媒体付と様々なタイプを取り揃えております。



Fi プラットフォーム

JIS A 4722 対応自動ドア装置。開閉ワンサイクル毎にセンサーの安全性を確認し、故障および故障に繋がる情報を電源スイッチ部のインジケーターが点滅することでお知らせします。QRコードから専用サイトへアクセスし、自動ドアの状態をセルフチェックすることも可能です。



センサー (CAN通信タイプ) 左: 天井付型 / 右: 無目付型



自動ドアに関する安全規格「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット - 安全性」に準拠することでより安全にご利用いただくことができます。詳細は裏面をご覧ください。

「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット - 安全性」 主な要求事項

「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット - 安全性」は、これまで以上にお子様や高齢者・車いす使用者の方々が安心して自動ドアをご利用いただくことを目的として2017年3月に制定された自動ドア全般にわたる安全規格です。

公共建築工事で使用される材料・工法などについて標準的な仕様を示した「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」および「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」から自動ドアの安全規格「JIS A 4722」が反映されました。

JIS A 4722に準拠した駆動装置とセンサーの採用

閉動作時の挟まれ及び衝突防止対策

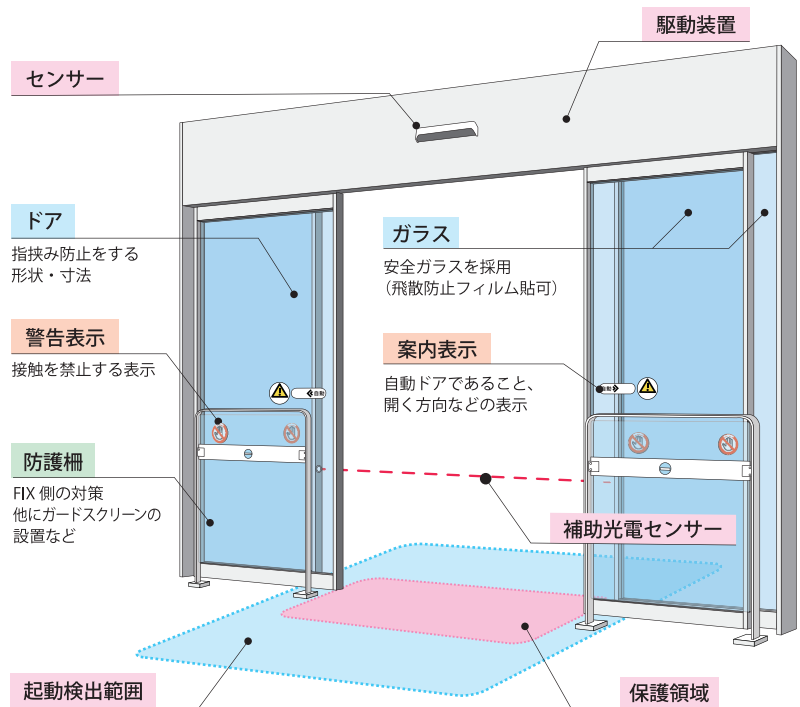
開動作時の挟まれ及び衝突防止対策

安全性の高いガラスの採用

案内・警告表示

保全点検の実施

■JIS準拠自動ドアセット（例）

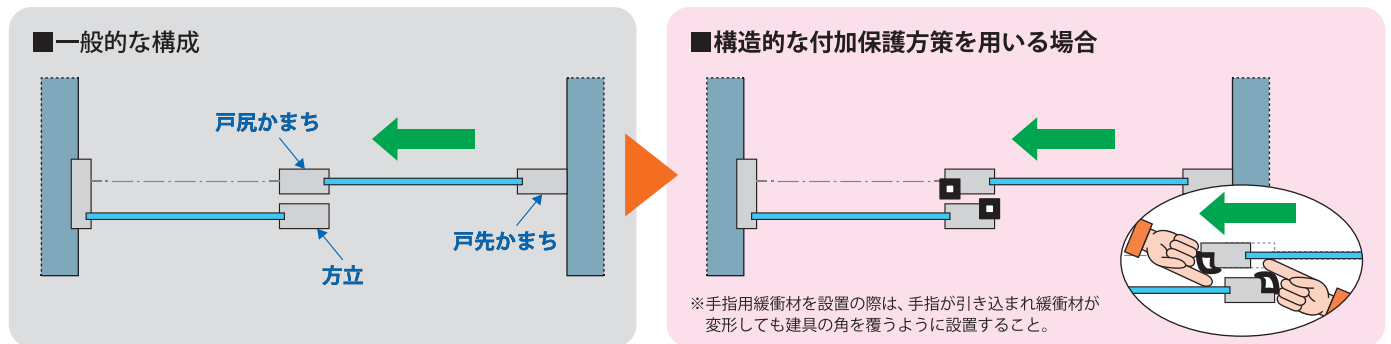


【JIS A 4722の改正（2022年）について】

2022年9月にJIS A4722が改正されました。

改正事項の中には2021年6月に消費者安全調査委員会より公表された「消費者安全法第23条第1項の規定に基づく事故等原因調査報告書」を反映した内容が含まれています。その中で、開動作中のせん断及び引き込まれについて子どもが集まりやすい施設や、保護者の方が子どもから一時的に目を離しやすい施設など、子どもに対して配慮が必要な場合の保護対策が追加になりました。

具体的な例として、構造的な付加保護方策を用いる場合は以下の図のように、危険箇所を手指用緩衝材を用いて保護することが望ましいとされています。



※構造的な付加保護方策として当社製品「ソフトタイトドア」の中空ゴムや、「引き込まれ防止テープスイッチ」を利用して戸尻および方立をカバーすることで対応が可能です。

製品の詳細については弊社担当者までお問い合わせください。

フルテック株式会社

<https://www.fulltech1963.com/>